



もうすぐハロウィーンです。ポーポキが住んでいる神戸にハロウィーンの飾りがいっぱい。ポーポキの毛は白いですが、個性を出すためにオレンジに染めようかなと考えています。あなたが住んでいるまちにハロウィーンの飾りはありますか。オレンジ色のねこは？ハロウィーンで盛り上がることは、平和？

Popoki's Hot News!



COMING SOON!

もうそろそろポー年会！今年の12月18日の予定です。
ぜひ一緒にしたいです。



ポーポキのピース・ブック3や「ポーポキ友情物語 ～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、
元気って、なに色？』や、ポーポキのほかの本は、お近くの
の本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸
YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。
ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友たちの**ありばんにゃん**から届いた平和。

「あか、きいろにだいたい色。草木や山を見ると、きれいで落ち着く色が広がっている…日本の秋は平和な季節？」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



NEW! 瀬チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>

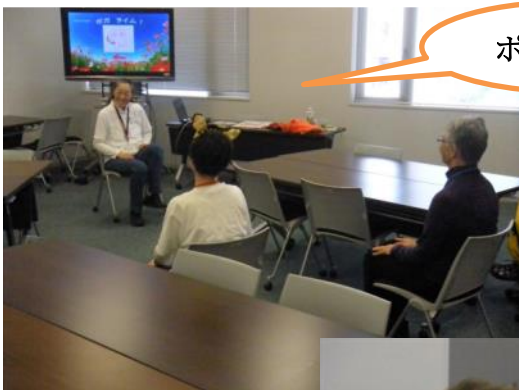
兵庫医療大学 地域交流プロジェクト
「ポーポキ；健康は 安全・安心と同じ色？」

文・写真 永重 史郎

日時：2015. 10. 17 14:00～16:00

会場：地域連携実践センター・参加：10名（ビジター 6名 スタッフ 4名）

ろにゃん先生の挨拶の後、さとにゃんの指導でポガタイムを共有しました。そして、ポーポキのピースブックを参加者全員で読み聞かせを交換しました。皆さん、丁寧に感情を込めて読んでくださいました。良かったです。



ポガタイム



“参加者の皆さんと”

読み聞かせ

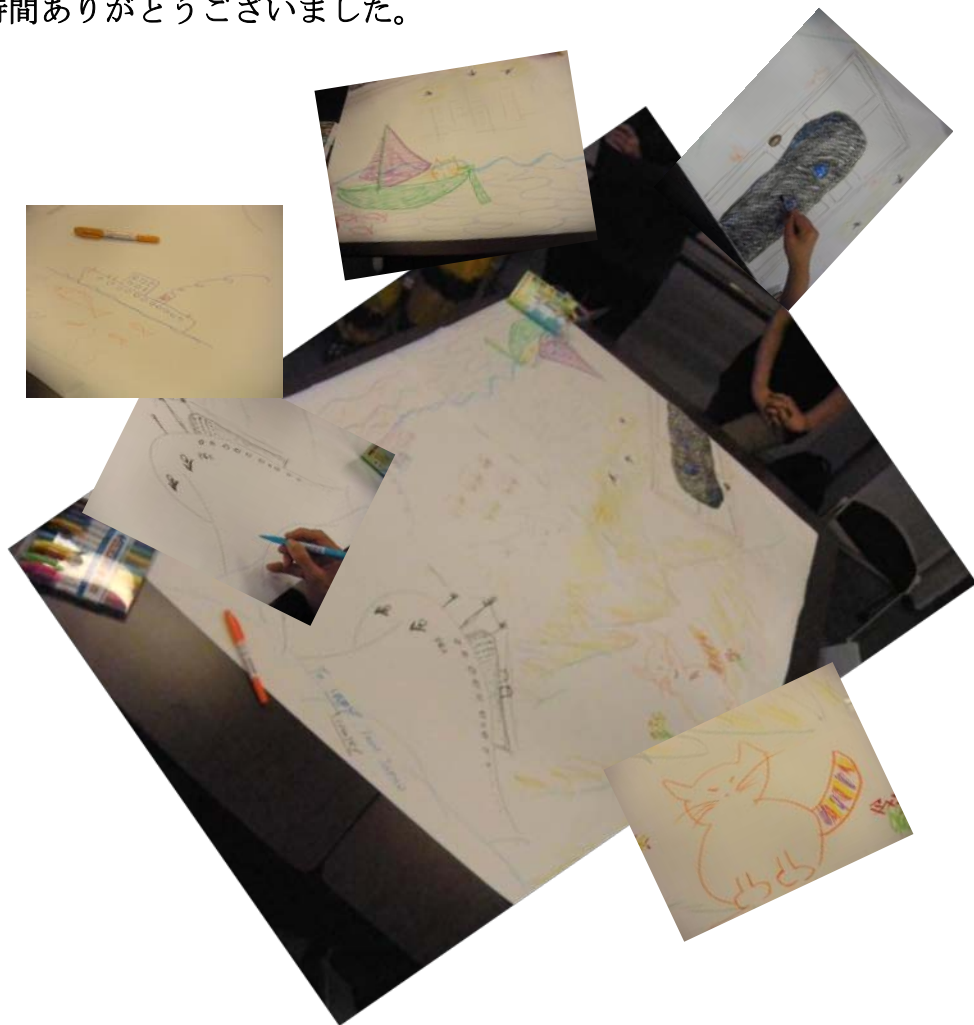


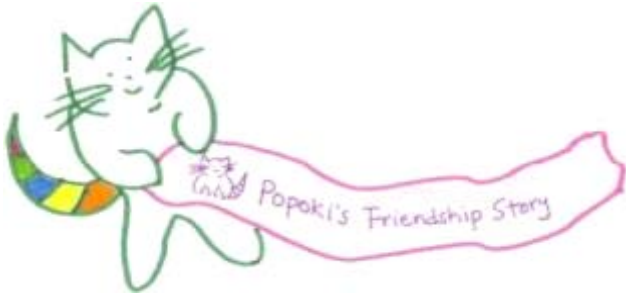
つづいて、テーマ「健康は 安全・安心と同じ色？」について、意見を出して話し合いました。例えば、ベッドに入る時、或いは朝目覚めたあと二度寝が出来れば幸せなど、安らぎを感じる時が安全・安心であるという意見が多かったです。一方、

“安心・安全＝幸せ”という概念で考えられていますが、本当に安全・安心を担保しているのか、個人的な欲求を求めているのでは、という意見がありました。また、ろにゃん先生から、安全・安心を英語で的確に言い表すことは大変難しく、概念的に推測するしかないと言われました。

でも、現在の世界で人権抑圧・戦争・紛争・人種差別・貧困に直面している人々はどのような思い（言葉）で表現するでしょうか。多分、私たちは彼等から人間の根源に関わる言葉に接して、難問を投げかけられるでしょう。

最後のプログラムはお絵かきタイム。大学の海辺に出てひと時過ぎたあと、教室に戻り皆さん各々感じたことを絵で表現しました。やはり、海に関連したことを描かれていました。自宅の窓から見える海の風景、元船乗りさんの航海への憧れ、ポーポキが海をぼんやり眺めている・・・安全安心を感じているのかな。宇宙へ飛び出したい思いを描かれた人がいましたが、最早、安全安心は私たちの世界にはないのかも？！皆様、素敵な時間ありがとうございました。





Popoki's Interview

ろにゃん

福島県立高等学校
教諭 赤城修司さん

赤城修司さんのことを初めて知ったのは、友人の前田圭子さんからです。ある日、彼女は「私の友人が出した本だけれどね」と言いながら「Fukushima Traces 2011-2013」という本を差し出した。2011年3月の福島第一原発事故のあと、福島市で放射能と共に暮らす日々を記録した写真集です。あまり言葉はない。そのページをめくっていくうちに、「日常」とはなにか。「普通」とはなにか。「安全」とはなにかなど、当然なことが当然でなくなってしまうもどかしさを味わいました。

前田さんに紹介していただき、8月に福島市でポーポキ仲間と一緒に赤城さんにお会いして、福島を案内していただきました。本当はみなさんにその場において、自らの目を見て、吹いてくる風を自分の肌で感じて、言葉では表現できないような不安や、矛盾する数々の現実に対する怒りを体験していただきたいと思います。その「おすすめ」として、赤城さんと過ごした時間の中からいくつかのことをここで紹介します。

ろにゃん（ろ）：赤城さんは、震災の時は福島にいましたか？

赤城（あ）：福島市に住んでいました。原発から60キロぐらいかな。事故の後は避難して、本当は福島から出ていきたい。けれど、仕事や家族のこともあって、結局は戻ってきて、福島県立高校で働いています。

ろ：関西ではよく「移住したい」と言っているのはお母さんたちだと聞きますが、赤城さんの場合はお父さんでしたね。

あ：そうですね。でも……。仕事がないとね……。

赤城さんに案内されたのは、福島市民が日常的に使用する住宅街、駅、公園、学校などといった生活空間です。福島第一原発から60キロも離れている福島市は、「安全」だとされているにもかかわらず今も除染作業がつづけられています。除染の跡は、駅前の樹やスーパーの駐車場にも生々しく残っています。

除染したところは変色している。
その上はなにもしていない。
駅の近くの駐車所に見える〇は、
除染につかった機械の跡。





駐車場や歩道、学校などいたるところに左のようなものが土から顔を出しています。それらは、袋に入っている除染した土などが埋められているところを示すものです。除染土が入っている袋の上に30cmほどの土を置いているので、「安全」だという。将来、こういった生活空間に作られた「仮置き場」から掘り出すことになっているので、印になるそうです。



あ：このように、どこへ行っても除染の跡が見える。除染活動をしているのも見える。もちろん、袋のままの場所もあります。最近では、家の裏においていることが多く、表からはなにも見えないけど、裏通りを通るとよくわかります。もちろん、神社などにもあります。

ろ：神戸にはいたるところにブルーシートがあったけれど、こちらは緑ですかね？

あ：そうですね。緑のほうが長持ちするという話もあります。

赤城さんが務めている高校に連れて行ってもらいました。学校の除染は終わっていて、除染されたものはグラウンドに埋められています。

あ：スーパーの駐車場と同じように除染の跡が見えるでしょう。とれた土はグラウンドに埋めたけど、ガスが発生するので、ガスが抜けるように、このパイプを作った。体育館の横などの木陰で生徒たちがお弁当を食べたりするけれど、溝はやはり少し線量が高くなっている。

ろ：そういうとき、注意しませんか？

あ：放射能のことは、一人一人が自分で考えなければならな



い。ぼくの活動は隠しているわけではないけど、学校でするのはむずかしい。心配している生徒がいることを、ぼくは良いと思っても、ほかの先生は心配するのがおかしいと言ったりする。

ろ：公園、お墓場、大学…。どこへいっても黒い袋が山積みになっていました。こちらが「もういい!!!」と言いたくなる。私はランニングが好きで本来ならこういうところで走りたいけど…。

あ：この公園でも、トレイルランニングの大会があ

りましたよ。黒い袋の前を走る。ぼくも走るのが大好きだったけれど、ここではね…。



ろ：震災以来、赤城さんはずっと写真を撮り続けています。どれくらい撮りましたか？

あ：2011年は9000枚。2012年は15000枚。2013年は6万枚。2014年は8万枚かな。自分の中で要求があるから撮っているけど、撮りたいかどうかはわからない。やらされているのかもしれない。誰かのためにやっているつもりはないけど、注目されていることは意識しているかもしれない。周囲の要求に応えようとしているのかもしれない。

ろ：私たちにとっては大事な活動だと思うし、写真やツアーを通じて、普段得られないものを提供してくれています。「あぶない！」とか「いけない！」と押し付けることではなくて、気づかせてくれることはすごいことだと思います。でも、赤城さん自身は大変だろうと思いますね。

あ：ぼくは、転職して安全なところへ行きたい。けれど、今まで、ぼくにとって受け入れることができるオファーはなかった。なぜ離れたいかという、こういう状態だからだ。福島を離れれば、活動がなくなるでしょう。矛盾するようだけれど、離れたいと思っていることが、福島の人としての属性を強めているような気がします。

ろ：赤城さんの持っている感性と視点は、どこへ行っても生かすことができるし、なにかをするだろうと思うけど…。震災までは、活動しませんでしたか？

あ：視点は持っていたと思いますが、今まで活動をする必要を感じなかった。震災後は、これを記録しない、と！」と思ったのが始まりかな。

ろ：アーティストとして？

あ：ぼくは「アーティスト」の自覚はない。

でも、活動を通して、いろいろなアートをしている人とつながって、評価されて、展覧会などに呼ばれたりしています。自分が必要な活動をしているだけであって、実は最もすごい写真を見せていない。同僚からの反応を恐れているのかもしれない。

ろ：周囲の態度は厳しいですか？

あ：趣味が一緒だから震災に対する態度が同じかといえば、そうではない。ぼくはこの4年間で変わったつもりはないけど、周



りの人は変わったと思っているようだ。ぼくにとって、周りが変わっただけです。周囲も環境も狂ったときは、自分も狂わなければやっていけない。普通的手段では対応できない。

ろ：赤城さんは以前、「沈黙は、恐怖の裏側にある」と言いました。同僚や生徒に恐れずになんでも言えたら、なにを言ってあげたい？

あ：この事故の対応は、個々人のやり方しかない。ぼくは自分なりに自分にできることをしているだけ。ほかの人は、ほかの人。何十年か後に、子どもたちに審判され、判断される。写真も50年後にはどうみられるか、どう評価されるか。自分がやったことは完璧だとは思わない。



子どもがよく遊ぶ公園のそば、若者が集まる大学のそばも、みんなが生活する町の中にも黒い袋がたくさんあるのに、誰も注目しない。誰も見ようとしなない。誰も避けようとしなない。「普通」になったこの「異常」を、私たちはどう受け止めたらよいのか。一人ひとりが考え、自分なりの行動を決めなければならない。それが赤城さんのメッセージだと思いました。

赤城さん、本当にありがとうございました！



赤城さんの本をぜひ広めていただきたいと思います。

赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』 オシリス 2015年3月20日。

<http://www.shashasha.co/en/book/fukushima-traces-2011-2013/>

又は前田圭子さんへ。 m.dodo@h2.dion.ne.jp



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 89

今月のテーマは、わき腹、足と腕のストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立って、足を広げましょう。右のつま先は右へ、右の膝をまげる。左のつま先は前へ、左足は延ばす。両手を横へ広げましょう。肩の力を抜いてね。
 3. さて、腹筋や太ももの内側の筋肉を使ってバランスを保ちながら上半身を右へ。右手で右の足首をタッチできますか？左手はのばしたまま。できた？では、②・③を反対側でやってみましょう！
 4. 最後に両足でしっかり立てながら手をたかへくあげてストレッチ！
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会：11月20日（金） 19:15～ 神戸YMCA

- 11. 18 ポーポキ at 網干高校！
- 12. 7 ポーポキ at 武蔵大学(東京)。
- 12. 8 ポーポキ in 台湾 at 災害とジェンダーセミナー
- 12. 18 ポー年会
- 2016. 2 ポーポキ in 大槌町



ポーポキの友だちからのお知らせ

・新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。

すてきな写真集です。注文などは：

<http://www.shashasha.co/en/book/fukushima-traces-2011-2013/>

又は前田圭子さんへ。 m.dodo@h2.dion.ne.jp

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える 1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの』（連載）とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいからなんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8（アジア女性交流・研究フォーラム）
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8 10 面





私にとってのポーポキ

岩手県大槌町

伊藤陽子 (いとうにゃん)

ロニー先生からある日 1 本の電話が入った。

平和の一言・・・と言われてウ～ン？サテ困った。

普段何気なく使ってはいるけれど奥が深そうだし、なにより難しそうな気配が・・・。

でも瞬間、浮かんだイメージは珈琲片手に好きな音楽を聴いているときの自分は幸せで、穏やかな空気が流れていて幸せなひと時だな～と・・・これって平和？

そこで辞書をひいてみた。(広辞苑によれば・・・)

平和・・・

- ① やすらかに やわらぐこと
おだやかで変わりのないこと
「・・・心」 「・・・な家庭」

- ② 戦争がなくて安穏であること
「世界の・・・」

平和維持活動 平和革命 平和議定書 平和記念公園 平和共存

平和運動 平和五原則 平和十原則 平和条約 平和部隊 平和主義 etc

字面だけ見ると一見平和そうに見えるが、平和に続く文字を見れば・・・いかに世の中安穏に暮らしていないか、また平和で無いから無理やり作ったような、創らざるをえなかった平和のなんと多い事か。

常に意識していなければならないのは平和では無いような気がします。

仰々しく言えば、国民の生活と安定が守られている事も平和であると思う。しかし幸せとは個々人がそれぞれ感じればよい事であって、別に他の人と同じである必要は無い。秋晴れの空を見て気持ち良く思うし、最近満天の星を眺めてあまりの綺麗さに、しばし見入ってしまった。都会と違いわが町は被災地ゆえに街灯もネオンのきらめきも無い。

余計に星の輝きが際立っていた。
価値観の違いもあるがこれはこれで幸せを感じる。



・・・結果として自分にとっての平和とは 何やら小さくしょっぱい感じがする。でも自分にとっては凄く大事で必要なこと。この積み重ねが「こころの栄養」になり「こころの平和」に繋がると思います。

「こころの平和」を感じる人が増えれば世の中も少しは平和になるかもしれないですね。

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!